



くりでんの歩みをたどる

5月30日(土)、栗原文化会館で市民講座「くりでんミュージアムが出来るまで。」を開催しました。

この催しは、くりはら田園鉄道の廃線から20年、くりでんミュージアム開館から10年の歩みを振り返るもので、第1回目講座の当日は「鉄道史の中のくりでん」をテーマに、立教大学名誉教授の老川慶喜氏と、一橋大学教授の高嶋修一氏が登壇しました。



参加した約40人は熱心に耳を傾け、ミュージアムの存在意義や保存資料の価値に理解を深めました。

往年の名車が一堂に集合

6月7日(日)、細倉メインパークを会場に「第24回小さな町の小さなカーフェスタ」が開催されました。

県内外から自動車とオートバイ合わせて約340台の出展があり、普段目に見ることができない名車を見ようと家族連れなど約3千人が来場しました。

来場者は、名車を前に記念撮影を楽しんだ他、昔懐かしい雑貨や自動車部品などのフリーマーケット



で買い物を楽しんでいました。大人から子どもまで幅広い世代が思い思いの時間を過ごし、笑顔があふれる1日になりました。

職人技が最高賞に輝く

5月15日(金)、第99回ジャパン・フード・セレクションの食品・飲料部門で志波姫地区の株式会社大平昆布が最高賞のグランプリを受賞しました。

この賞は、日本フードアナリスト協会が主催する商品コンテストで、商品開発のプロなど全国にいる食の専門家2万3千人が商品評価を行うものです。

受賞にあたり、同社の藤田洋生代表取締役社長は「大手メーカーの受賞が多い中、受賞できたことに驚いています。これからも、良い商品づくりを続けたい」と受賞を喜びました。



各地区の催しを、毎月5地区ずつ紹介します。取材を希望する場合は、催しを開催する2カ月前までに、市政情報課(☎22-1126)へ連絡してください。

鳥の目線で街並みを楽しむ

6月13日(土)から栗原文化会館で「黒澤達矢の鳥瞰図・原画展」を開催中です。

この催しは、市出身でイラストレーターの黒澤達矢氏が制作した鳥瞰図などを展示したものです。

鳥瞰図は、都市の景観や地形などを上空から見たように描くもので、会場には原画など約170点を展示しています。



展示会初日は、黒澤氏自ら作品の解説を行い、来場者は熱心に耳を傾けていました。原画展は、7月26日(日)まで開催します。

勇壮な鹿踊りが競演

6月14日(日)、一迫山王史跡公園あやめ園を会場に「第38回みちのく鹿踊大会」が開催されました。

この催しは、ハナショウブが見頃を迎えるこの時期に合わせて、一迫観光協会が開催しているもので、毎年多くの観光客が訪れる人気のイベントになっています。

当日は、市内や県外から5つの鹿踊り団体が出演し、素早い動きと太鼓の響きで来場者を魅了しました。また、観客たちは、演舞に見入り、大きな拍手を送っていました。



夢へ躍進 青春の夏 近畿総体2026

7月22日(水)から8月21日(金)にかけて、近畿地方で開催される「令和8年度全国高等学校総合体育大会」に市内の選手たちが出場します。

ホッケー (男子)



築館高等学校 男子ホッケー部

陸上競技 (女子4×100mリレー) (団体・女子ダブルス)



仙台育英学園高等学校 3年 大場 諒音 さん (築館西町)



山形城北高等学校 3年 鈴木 友莉亜 さん (若柳米ヶ浦1)

書道



仙台育英学園高等学校 3年 千葉 真菜香 さん (若柳かけ)

相撲 (団体・個人体重別)



加美農業高等学校 2年 熊谷 収 さん (栗駒上野)

ボート (女子舵手つきクォドルプル)



佐沼高等学校 3年 佐藤 和花 さん (若柳北二股)



佐沼高等学校 2年 佐藤 百々花 さん (若柳新山)

※6月18日(木)までに出場が決定し、情報提供があった選手を掲載しています。

美術・工芸



佐沼高等学校 3年 大場 朱璃 さん (若柳米ヶ浦1)

長寿100歳 おめでとうございます

大正、昭和、平成、令和。激動の4つの時代を駆け抜け、思いを紡いで1世紀。100歳の誕生日を迎えた5人を紹介します。



千葉 けい子 さん (築館西町)

これまで、季節になると山菜を取り、料理することを楽しんできました。現在は、高齢者福祉施設で、元気にゆったりと過ごしています。



加藤 恵子 さん (若柳大林2)

結婚後は、農業で家族を支えました。現在は、自宅の茶の間でつろぐ日々を送り、夕方には、カーテンをしめるなど家事の手伝いを日課としています。



高橋 より子 さん (若柳福岡)

若い頃は、農業の傍ら地区の旅行や海外旅行を楽しみました。最近では、デイサービスに通いながら、ひ孫に囲まれて賑やかに過ごしています。



伊藤 きねこ さん (若柳片町2)

長生きの秘訣は、畑仕事と、好き嫌いせず何でもよく食べることです。現在は、孫やひ孫に会うことや、カラオケや野菜作りを楽しみに過ごしています。



高橋 若子 さん (一迫南沢)

夫婦で稲作やタバコ栽培に精を出し、4人の子どもを育て上げました。夫婦共に100歳を迎えた今は、高齢者福祉施設で穏やかな日々を過ごしています。